

新規事業評価調書

【砂防事業】

山田川

県土整備部
土木局 砂防課

投資事業評価調書（新規）

| | | | | | | |
|--|---|---------------------|---|--------|----------------|--------|
| 部課室名 | 県土整備部土木局 砂防課 | 記入責任者職氏名 (担当者氏名) | 砂防課長 高谷和彦 (主幹 (防災担当) 小倉正大) | 内線 | 4459 (4467) | |
| 事業種目 | 事業名 | 事業区間 | 総事業費 | 内用地補償費 | 着手予定年度 | 完了予定年度 |
| 砂防事業 | 通常砂防事業 やまだ 山田川 | 赤穂市 きづ 木津 | 1.5億円 | 0.1億円 | 平成29年度 | 平成31年度 |
| 事業目的 | | | 事業内容 | | | |
| <p>当地区は、土石流発生の危険性が高いことから、土砂災害警戒区域となっており、保全対象は人家88戸、集会所、市道がある。</p> <p>そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～H30)」に基づき、砂防事業を実施する。</p> | | | <p>砂防えん堤工 1基 (高さ 11.0m, 延長 50.0m) [負担割合] 国・県：各50%</p> | | | |
| 評価視点 | 評価結果の説明 | | | | | |
| (1) 必要性 | <p>①山田川は、(二)千種川水系加里屋川に流入する土石流発生の危険性が高い溪流(JR赤穂線坂越駅より北西に2.6km)である。</p> <p>②平成26年5月に山火事が発生し、当溪流周辺一帯の樹木が消失する被害が発生した。現場は、裸地が剥き出しの状態であり、大きな転石も多数見受けられる。</p> <p>③溪床には土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、谷出口には人家があることから、土砂災害の危険性が高い。</p> | | | | | |
| (2) 有効性・効率性 (執行環境状況) | <p>①警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</p> <p>②地元要望が強く、工事前進入路の確保など、工事に対する地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。</p> | | | | | |
| (3) 環境適合性 | ①地山の改変を最小限にとどめ、環境保全に努める。 | | | | | |
| (4) 優先性 | ①保全対象には人家88戸、市道、千種集会所がある。また、溪岸の侵食が進み、流域の荒廃が進行していることから、早期事業着手を図る。 | | | | | |

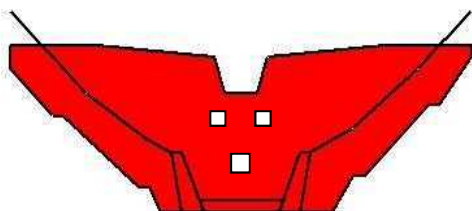
ちくさ やまだ あこう きづ
(二)千種川水系 山田川 通常砂防事業(兵庫県赤穂市木津)

○現状の危険性:平成26年5月に発生した山林火災により、斜面が裸地化されている。流域荒廃が著しく、今後の降雨で土石流の発生により、人家、集会所等に被害のおそれがある。

○保全対象:人家88戸、千種集会所、市道

○全体事業費:150百万円(H29~H31)

流域面積 $A=0.03\text{km}^2$
 事業内容(全体)えん堤1基



えん堤工 H=11.0m、L=50.0m

